

「新たな少子化対策の決定」

1. 新たな少子化対策の決定

6月20日、総理を会長として全閣僚で構成する少子化社会対策会議において、「新しい少子化対策について」（以下「新少子化対策」という。）が決定された。

近年、少子化や人口減少に対する社会の関心は急速に高まっており、新聞・雑誌に「少子化」という言葉が載らない日の方が珍しい。昨年は、年間の出生数よりも死亡数の方が多いという人口の自然減となり、総人口も前年よりも減少する「人口減少社会」に突入した。1人の女性が生涯に産む子どもの平均値である合計特殊出生率も1.25と過去最低を記録した。このまま少子化傾向が進めば、やがて総人口は1億人を割り込み、2100年頃には半減してしまう。今や、少子化対策は国政の大きな課題となっている。

90年代半ばから政府は少子化対策として、エンゼルプラン、新エンゼルプラン及び子ども・子育て応援プランを策定してきたが、今回の新少子化対策は、次に述べる通り、策定手法と内容の両面でこれらとは異なる特徴を持っている。

2. 様々な意見・要望等を踏まえ政府・与党合意の上で策定

エンゼルプラン等の従来の計画は、厚生省（現在は厚生労働省）を中心に政府内部でつくられたものであるが、「新少子化対策」は、審議会の議論と地方自治体との意見交換、与党における議論等を踏まえて作成されたという大きな広がりをもった策定方法がとられた。

すなわち、昨年10月、関係閣僚と有識者からなる少子化社会対策推進会議が設置され、その下に置かれた少子化担当大臣と有識者との専門委員会が具体的な議論を進め、本年5月に報告書を取りまとめた。一方、昨年10月末に初めての少子化担当専任大臣として就任した猪口邦子内閣府特命担当大臣は、昨年12月から本年4月まで、休日を利用して全国10ブロックで県知事等の地方自治体トップとの政策対話を行った。そのときに示された地方自治体の独創的な取組、国への要望等が取りまとめの参考になった。さらに、与党（自民党及び公明党）の部会等においても少子化対策の検討が進められ、提言が取りまとめられた。

以上の報告書・提言等をもとに作成された対策原案が、本年3月に設置された少子化対策に関する政府・与党協議会で合意され、少子化社会対策会議の決定となった。このように新少子化対策は、国民各層の意見・要望等を反映し、かつ、政府・与党が一致して承認した政策と位置づけられるものである。

3. 新少子化対策の新しさ

新少子化対策には新しい視点・内容が数多く盛り込まれている。

まず、少子化対策の目標は「出生率の低下傾向の反転」とし、従来の「少子化の流れを変える」から一步踏み込んでいる。また、生命を次代に伝え育んでいくことや家族の大切を理解し、子どもを守り育てることが社会の責任であるという意識改革の重要性を強調している。

子育て支援策については、子どもと家族を大切にするという視点にたって、①子育て家庭を社会全体で支援すること、②親が働いているかいないにかにかかわらず、すべての子育て家庭を支援すること、③出産前後や子どもが乳幼児期にある子育て家庭を重点的に支援すること、等を基本的な考え方としている。子育てに対する社会的支援を基本に据えていること、従来の対策が共働き世帯を中心に行っている傾向があったことに対して全家庭対策の必要性を打ち出していること、子どもが小さい時期の育児支援に力点を置いている点が新しい。

施策は、①妊娠・出産から高校・大学生期になるまで子どもの成長に応じた子育て支援策、②働きかたの改革、③家族・地域の絆を再生する国民運動の推進、の3本柱となっている。新規施策としては、出産費用の負担軽減、児童手当制度における乳幼児加算の創設、行動計画の公表等次世代育成支援対策推進法の改正検討、放課後子どもプラン（仮称）の推進、企業の子育て支援の取組の推進等があげられる。

新少子化対策に対する批判として、経済的支援に偏っている、あるいは優先順位を明確にすべきというものがあるが、いずれも的を得ていないと考える。乳幼児加算の創設は、親の経済力が相対的に低い若い子育て世帯を支援しようとするものであるが、産科医療システムの充実や子育て初期家庭に対する家庭訪問を組み入れた子育て支援ネットワークの構築、地域の子育て支援拠点の拡充等を組み合わせた施策の一環である。また、少子化対策として、保育等の地域サービスの充実、経済的支援、働きかたの改革、意識改革の施策を総合的に推進していくことが重要であり、そのいずれかの分野を優先するというよりもこれらすべての分野を強化していくことが必要である。

今後、平成19年度予算編成過程の中で、新少子化対策に掲げられた40項目の施策を具体化し、実施に目処をつけていくことが関係府省庁に課せられた課題である。

※新少子化対策は、<http://www8.cao.go.jp/shoushi/taisaku.pdf>
でご覧になってください